

4. 豊かな心を育む取組 思いやりのある生徒

(1) 協働的な学びの充実



心を一つに



翔陽四季



合唱コンクール



意見発表



花壇整備



落ち葉集め



防災学習



郷土しらべ



五稜郭見学



和服教室

① 心のつながりを生む取組

◆ **体育祭「仲間とつくる感動」** <5/30>
「頑張ることは格好いい」を体験し、仲間を励ます、お互いの健闘を讃え合う活動を目指します。伝統の演目「翔陽四季」では、縦割り活動を通して、上級生は自己有用感を、下級生は先輩へのあこがれを強めています。

◆ **文化祭「心一つに歌声響く」** <10/3>
「心を一つに揃えることは美しい」を体験し、表現力や情操を高め合う活動を目指します。また、個性が発揮される学年演劇や学級展示と合わせて、「揃えること」(合唱)と「違えること」(学年学級発表)の意義を考えます。

② 思いを伝え合う取組 <8~10月>

◆ **意見発表「私の思い言葉にのせて」**
夏休みから全校生徒で取り組み、学級発表、学年選考を経て全校発表(文化祭前に実施予定)を行います。疑問や葛藤に対して「自分や周囲はどうしたらよいか」を考え、自分たちの在り方や生き方を中学生の視点で発表し、思いを言葉で伝え合います。

③ 社会貢献の取組

◆ **ボランティア活動「役に立ちたい」**
「いつもお世話になっている地域のために何かできないか」という思いのもと、生徒会の呼びかけで様々な活動を予定しています。
・「花壇整備と管理」<5~10月>
・「児童学習サポート」<8/19>
・「お楽しみ教室サポート」<8/18・19・12/25・28>
・「落ち葉集め」<10~11月の4日間>

④ ふるさとの歴史・文化を学ぶ取組

◆ **1年「郷土しらべ」** <10/16>
校区の史跡散策により、帯広発祥の歴史や文化について探求的に学習します。先人の行動力、勇気、進取の精神が息づくこの地で、開拓者魂(翔陽プライド)に触れる学習となります。調査のまとめは、後日報告会で発表し、3年生時の修学旅行に引き継がれていきます。

◆ **3年「修学旅行」** <5/12-14、6月報告>
事前学習と旅行を通して、研修先(道南・道央)の歴史・文化・産業・魅力等について調べます。ふるさと帯広との違いや、帯広の良さを再発見し、帯広の未来について考えを深めます。その内容は、後日報告会で発表します。

◆ **1年「和服教室」** <7/15・16>
外部講師を招き、日本文化の歴史や所作を学びます。



手話教室



JICA・はぐくむ



帯広の森散策



企業のSDGsの取組



自分たちにできること



財政講座



選挙講座



食育指導



⑤ より良い地域づくりを考える取組

～「おびひろ市民学」帯広の未来を考える～

◆ 1年「地域の一員として」

・手話教室「言葉をこえて」<11/17>
様々なコミュニケーションがあり、お互いを尊重する大切さを学習します。
・防災学習「地域を守る要になろう」<12/4>
避難の呼びかけや避難所運営を積極的に手伝うなど、多くの人の支えになれるように学習します。
・認知症サポーター養成講座「支え合う」<2/22>
地域包括支援センター職員が講師を務め、人を大切にすることや支え合うために、自分ができることは何かを考える学習を行います。

◆ 2年「持続可能な社会のために」

地域や社会の未来に対して責任ある行動とは何かを考える学習を行います。
・国際協力(JICAでの学習)<5/20>
・帯広の森づくり(「はぐくむ」での講話や散策による学習)<5/20>
・SDGsの取組(帯広市青年会議所から講師を招き、各企業が行っているフードロスや環境問題等に対する取組を学習)<9/9>
・SDGs学習のまとめ(帯広市都市環境部より講師を招き、「自分たちにできること」を交流)<12/2>

◆ 3年「社会の創り手として」

・「帯広市の台所事情」<9/14>
帯広市財政課職員を講師に招き、帯広市のまちづくりと財政について学習します。
・「租税教室」<社会>
税金の用途や納税の意義について学習します。
・「主権者教育講座」<12/9>
市役所職員を講師に招き、主権者としての権利や責任、選挙の仕組みについて学習します。
・「消費者教育講座」<3/5>
市役所職員を講師に招き、消費者の権利や、消費活動におけるリスクへの対応について学習します。

◆ 全学年「つながる食育」

<11・2月>
食育指導員を講師に招き、「食の大切さ」について学習します。ふるさと十勝帯広の食材についての知識や、食を含む生活習慣が健康や成長に与える影響などについて学びます。

◆ 全学年「キャリアパスポート」

「おびひろ市民学」だけでなく、自分が残しておきたい記録(ボランティア、課外学習・体験など)をファイルにして、自分の成長を振り返るものにしています。

<目指す姿> 自他を尊重し、思いやりのある生徒(生徒像3)

○ 昨年度、活動を通して多様性を尊重する意識や、地域づくりに貢献しようとする意欲が高まっていました。生徒たちが多様な他者とより良いものを創り出す楽しさや感動を共有してきたことや、探究的な学習を通して、郷土愛や社会の創り手となる自覚が高まってきた成果と考えています。今年度も、工夫しながら継続していきます。

※R7アンケート結果(6→12月)

<input type="checkbox"/> 自分と違う意見について考えるのは楽しい	全校: 75%→77%
<input type="checkbox"/> 話し合い、互いの意見のよさを生かして解決していた	全校: 76%→79%
<input type="checkbox"/> 地域や社会をよくするために何かしてみたい	全校: 68%→70%

(2) 将来の自分の姿を考えるための取組

将来「自立し、幸せな人生を切り拓く」ための能力や心を培うために、生徒は多くの人と関わり、多くの経験を重ねて、将来なりたい自分を探し続けています。日々の授業や行事、学級・生徒会活動に加え、部活動、ボランティア活動、進路学習、教育相談などを通して、生徒は多くの刺激を受けながら、目標に近づくための準備をしています。その一部を紹介します。



部活動紹介



マナー教室



職場体験



職場体験



職場体験



高校出前説明会



高校出前説明会



インターンシップ

① 進路学習

◆1年「上級学校しらべ」〈3学期〉

「将来なりたい自分に近づくためにどのような進路選択がいいのか」中学校卒業後の具体的な進路選択の材料にするため、各上級学校の特色や進路状況などを調べ、まとめたものを交流します。

◆2年「職業人に聞く」〈2学期〉

様々な職業人を講師に、仕事の特色や必要な能力などを具体的にお話いただきます。また、職業体験に向け、外部講師を招いた「マナー教室」〈10/8〉も実施します。

◆2年「職場体験」〈10/16・17〉

近隣の事業所に協力をいただき、2日間の職場体験を通して、働く意義や職業観について学びを深めます。昨年は、どの事業所も温かく受け入れてくれ、生徒たちは感謝も含め、体感したことを後日の報告会で発表しました。

◆3年「高校出前説明会」〈6/26〉

管内公立・私立高校が来校し、説明会を行います。生徒は希望する高校を複数選び、各校の特色や進路状況、学校生活など、動画やスライド等で説明を受け、質問等により自らの進路選択に必要な情報を集めます。また、別日に行われる各高校の説明会や部活動体験を通して、生徒(希望者)は高校の雰囲気や体験しています。

② 教育実習・インターンシップの受入

将来、教職員を目指す大学生、高校生が来校します。大学生は授業をはじめ教員の業務全般を体験し、高校生は授業見学や学習支援を中心に行います。例年、中学生は「年の近い先生」の姿やお話から進路や将来像について多くの刺激を受けています。

(3) 道徳授業、命や人権を考える授業の充実



考え、議論する道徳



1年「多様な性」

2年「対等な関係」



3年「生と性」

「SOSの出し方」学習

① 「考え、議論する道徳」〈年間〉

アンケートや面談等による生徒の実態を調査した後、「考え、議論する道徳」の授業を全教員で担当を決めて実践します。

② 命や人権を考える授業 〈年間〉

多様性、思春期の心と体への理解を通じて、命の尊さや人権について考えを深める授業を行います。詳しくは、p1 **いのちの学習「自分を守り・相手を守り・命を守る」**で紹介しています。

(4) 集団と自分の関わりを考えるための取組



教育相談



努力を讃える展示スペース



校則の見直し



いじめ撲滅集会



あいさつ運動



クリスマス企画



帯広市いじめ非行防止サミット



エリアサミット



どさんこ☆十勝地区会議



大谷高校生徒会交流

① 各種アンケートの結果の活用

全国学力・学習状況調査(4月)、いじめ等調査(5月・10月・2月)、満足度調査(8月・1月)や教育相談等を活用し、生徒の実態把握に努めるとともに、今後について考えを深める機会を設定してきます。

② 学校風土の見える化と安心づくり

道教委作成「みんなが安心できる学校づくり」アンケート(8月・1月)や、アセス(6月・10月)を活用し、学校風土や雰囲気、学級全体と生徒個人の適応感を調べます。SOSのサインや、集団の中の関係性について確認・研修し、指導・支援の参考にします。

③ 教育相談 〈6月、11月、随時〉

学習や生活、人間関係、部活、進路など、生徒が相談したいことを記載した教育相談シートをもとに実施します。人との関わり方や将来の姿など、いまの自分と向き合い、「これからすべきことは何か」、「将来どんな生き方をしたいか」考えを深める機会として実施します。

④ 表彰伝達・各種集会 〈随時〉

各種大会で表彰を受けた団体・個人による表彰の報告を通信や展示で紹介し、挑戦や努力を讃え合う場、感謝を伝える場をつくります。昨年は、掲示の前で足を止めて見ている生徒も多数いました。また、生徒会や学年協議会を中心に、より良い学校生活にするために文書や集会で呼びかけなども行っています。

⑤ 生徒会 〈年間〉

笑顔で楽しく過ごせる学校づくりを目指し、「凡事徹底」を合い言葉に、主体的な活動を行っています。昨年は、各イベントや交流の企画・運営以外にも、各校との交流や研修を行ったり、校則を見直し、職員会議で提案の後、生徒総会で可決したりしました。

<昨年の活動の一部>

- ・「校則の見直し」・「いじめ撲滅集会」
- ・「あいさつ運動」・「クリスマス企画」
- ・「帯広市いじめ非行防止サミット」
- ・「エリアサミット」・「大谷高校生徒会交流」
- ・「どさんこ☆十勝地区会議」

※R7アンケート結果 (6→12月)

- 自分にはよいところがある 全校: 87%→89%
- 将来の夢や目標を持っている 全校: 69%→70%
- 話し合い活動で、考えを深め上げている 全校: 84%→84%

※R7アセス検査結果 (10月) 50以上で満足感が高い

- 特徴 全ての項目 (生活感・雰囲気・校舎・校門・校舎内・校舎外・学習環境): 50以上
- 3つの項目 (教師サポート・友人サポート・非侵害的関係): 55以上

<目指す姿> 自他を尊重し、思いやりのある生徒(生徒像3)

- 昨年度、活動を通じて、自己肯定感や生活満足感が高く、将来の夢や目標を持つ生徒が多くなりました。進路を考える学習や、他者との関わりを通して、相互理解や将来の生き方について考えを深めてきた成果と考えています。今年度も、工夫しながら継続していきます。

5. エリア連携の取組

～主に翔陽中・柏小・東小・帯広小・光南小の取組～

昨年度も、翔陽中エリアファミリーを中心に、多くの皆さんとの連携により、様々な取組を行うことができました。

今年度も引き続き、子どもたちが地域のつながりの中で、学ぶ機会を大切にしたいと思っております。

<昨年度、連携・協力いただいた皆様>

- 1.翔陽中エリア… ①翔陽中学校 ②柏小 ③東小 ④帯広小 ⑤中央児童保育センター ⑥柏児童保育センター ⑦柏児童保育センター分室 ⑧東児童保育センター ⑨せいせい児童保育センター ⑩にいろ保育園 ⑪帯広保育所 ⑫依田保育所 ⑬せいせい保育所 ⑭第一いずみ幼稚園 ⑮帯広薬師幼稚園 ⑯帯広東が幼稚園
- 2.翔陽中校区… ①光南小学校 ②柏葉高校 (エリアカリエ)
- 3.その他… ①地域ボランティア ②帯広畜産大学 ③釧路高専 ④ネイビィ足寄

(1) 中学校教員による合同体育

① 体の動かし方教室 <1学期>

帯広小、東小の児童を対象に、本校の体育教師が各校に赴いて実施します。昨年は、小学校の体育専科の先生と連携して実施しました。児童は目をキラキラさせながら熱心に取り組んでいました。



こんなふう!

② 合同体育 <1学期>

本校の体育教師と生徒が柏小に赴いて実施します。昨年は、中学生が動き方やコツを見本で示し、「いいよ」「上手だよ」と声をかけると、小学生はそれに応えるように、熱心に取り組んでいました。ゴールでは中学生が「頑張ったね」とハイタッチすると、小学生は満面の笑みで喜んでいました。その姿や眼差しを見ると、中学生にとっては、一生懸命見本を見せ、励ますことで小学生の役に立ったと感じ、自己有用感を高めているようでした。また、小学生は励ましてくれたことや



上手になったね!



よかったですね!

教えてくれたことが嬉しく、中学生にあこがれの気持ちを持ってくれたようでした。小・中学生がつながり、ともに高め合う良い機会となりました。



みんなががんばりました!

(2) 中学校教員による合同授業・出前授業

① 数学合同授業 <2学期>

柏小・東小の6年生が来校しました。児童はアクティビティを交えながらグループに分かれ、数学的な問題に挑戦。対話によって課題を解決することや、学習習慣の必要性を確認していました。



将来のクラスメイトで学習

② 数学出前授業 <2学期>

本校の数学教諭が校区小学校(柏小・東小・帯広小・光南小)を訪問します。数学の授業を通して、考える楽しさや学習習慣の必要性、中学校に向けて準備することなどを確認します。



中学校に向けて!

③ 英語の出前授業 <3学期>

本校の英語教師が校区小学校を訪問します。小学校の英語専科の先生と連携して、小学校の学習がどのように中学校につながっていくかや、中学校生活についても紹介し、中学校進学への意欲を高めたり、準備を促したりします。



勉強も生活も中学校につながる

(3) 学習会・体験学習による児童生徒の交流

① 夏休み学習会 <7/27-29, 8/17-19>

小・中・高・地域連携を進めるため、地域の方や高校生、大学生、小学校の先生にもご協力いただき、実施します。

◆小学生学習会「はばたき学習クラブジュニア」<8/19>

帯小・柏小・東小・光南小の児童が来校し、同じ教室で学習会を行います。



翔陽生ボランティアが学習サポートや会場案内をします。



<写真：小学生に教える翔陽生>

◆中学生学習会「はばたき学習クラブ」<7/27-29, 8/17-19>

翔陽生が、高校生、大学生、地域ボランティア、小学校教員、中学校教員に学習をサポートしてもらいながら、宿題や1学期の復習、テスト勉強などを行います。



<写真：大学生に教わる翔陽生>

<写真：講師に校区の小学校の先生方も>

② 夏休み親子体験学習 <8/18-19>

翔陽中校区(本校・帯小・東小・柏小・光南小)の親子、教職員、大学生が、同じ教室で一緒に学習します。(翔陽生ボランティアやPTAのサポート協力も募ります)

◆親子「お花教室」<8/18>

地域ボランティアが講師を務め、参加者は、思い思いに「夏の花」をアレンジします。



<写真：翔陽生がサポート>

◆親子「理科実験教室」<8/19>

コースを選んで参加できます。(詳細は、後日案内します)

<参考> 昨年の内容

・Aコース(解剖実験):翔陽中の先生が講師を務め、40名が参加しました。①十勝の農業、②解剖実験、③見え方実験を行い、ふるさと十勝の歴史や食文化、眼球のつくりと働き、見え方について学習しました。



<写真：ブタ眼球の解剖実験や、自分の目の見え方を調べている様子>

・Bコース(岩石標本):畜大生と本校理科教員が講師を務め、30名が参加しました。岩石や鉱物を観察し、特徴をまとめ、分類したものを小さな標本にしました。完成した標本は記念に持りました。完成した標本は記念に持ち帰りました。



<写真：畜大生が講師となり、翔陽生や保護者のサポートで標本を制作>

・Cコース(折り紙建築):釧路高専の先生が講師を務め、22名が参加しました。紙に切り込みや折り・曲げを加えることで、三次元的に美しい構造物を創ることができることを学習しました。



〈写真:釧路高専の先生が講師となり、児童・生徒は繊細な作業に挑戦〉

〈各イベント後の感想〉

- ・学習会:中学生が優しく教えてくれて嬉しかった。また来たい。(光南小5年) 復習・課題を終えた。勉強量が確保できてよかった。(翔陽中2年)
- ・お花教室:とても楽しかった。(光南小3年) お友達ができた。(東小2年)
- ・実験A(解剖):貴重な体験でした。目の見え方も面白かった。(翔陽中1年)
- ・実験B(岩石):岩石も鉱物も顕微鏡で見るときれいだった。(帯小5年) 実物と知識がつながり受験勉強にも活用したい。(翔陽中3年)
- ・実験C(建築):完成した時に感動した。自分でも設計してみたい。(柏小6年)

④ 冬休み学習会・親子体験学習 <12/25・28、1/6>



「はばたき学習クラブ」:多くの方に学習サポートを受ける生徒

夏同様に多くの方にご協力をいただき、「学習会」と「お楽しみ教室」を実施します。(小・中・高・大・地域との連携)
 昨年、同じ地域に縁のある小学生から大学生、大人が一堂に会して交流し、学び合う姿はとてもほほ笑ましいものでした。

◆中学生学習会「はばたき学習クラブ」<12/25・27、1/6>



小学校の先生によるサポート

畜大生によるサポート

翔陽生が、高校生、大学生、地域ボランティア、小学校教員、中学校教員に学習をサポートしてもらいながら、持参した冬休みの宿題や2学期の復習、入試対策問題などを勉強します。



大学生に教わる翔陽生

高校生に教わる翔陽生

◆親子「お正月飾り教室」<12/28>

学習会後のお楽しみ企画として実施します。地域ボランティアが講師を務め、翔陽中校区の家族と教職員が参加対象です。

昨年は、升到松や南天、菊などの生花、水引を組み合わせ、思い思いに「お正月飾り」をアレンジしました。



お正月飾り教室の様子



完成した作品を持って記念撮影



個性豊かな作品に

◆親子「理科実験教室」<12/25> コースを選んで参加できます。〈参考〉 昨年の内容 (詳細は、後日案内します)

・マイ箸づくり:ネパール足寄の職員が講師を務め、木材の端材を使って制作しました。①カンナで削り、②やすりで磨き、③絵付け、④オイルを塗ってオリジナルの箸の完成です。作業で出た木くずも燃料にして資源を最大限活用しました。



カンナで削る

焼きこてで装飾

やすりで磨く

・いのちの学習(解剖実験):大泉校長と畜大(獣医学科)の学生4名が講師を務め、柏葉生もボランティアを兼ねて参加しました。①細胞、②遺伝、③畜産業(動画)、④生殖(解剖実験)について学習しました。(本校で実施している「いのちの学習」(性教育)のオプションとしての内容も含まれています)



生殖器官の解剖

大学生講師によるサポート

勝跡の容量測定

人工授精

農場レポート

〈各イベント後の感想〉

- ・学習会:1年生の時からおも全部参加しているが、楽しかった。先生に教えてもらえるのでとても身につきました。(翔陽中3年)
- ・お正月飾り:何が素敵なのかを考える時間も、各の個性豊かな作品を見るのも楽しかった。華やかに生けることができ、早速玄関に飾っています。(保護者)
- ・実験(マイ箸):カンナで箸を削るのは難しかったけれど、絵を描くのは楽しかった。また何かつくってみたい。(帯広小)
- ・実験(解剖):最初ビックリしたけど、だんだん楽しくなり夢中になった。憧れの獣医学科の学生と一緒にできて嬉しかった。将来は獣医になりたい。(光南小)

(4) 実習・生徒会・入学説明会による交流

① 幼児との交流 <2学期>

近隣の保育所・幼稚園にご協力をいただき、3年生「保育所実習」(9/上旬)、2年生「職場体験」(10/15・16)を行います。



すごいね!

② 児童との交流 <2・3学期>

近隣の小学校にご協力をいただき、2年生「職場体験」(10/15・16)を行います。また、小学校で吹奏楽ミニコンサート(3/上旬)を予定しています。



こうやるんだよ!

③ 生徒会の交流 <1・2学期>

帯広市いじめ非行防止サミット(6月)、エリアサミット(12月)で、各校の取組などを交流します。(p6にも掲載)



児童会・生徒会役員

④ 入学説明会 <2/16(翔陽中予定)>

翔陽中3年生が、児童向けに中学生の授業見学、校舎巡り、学校説明を行い、並行して保護者向けの説明会も行います。



小6に説明する翔陽生

(5) 教職員の連携会議・研修会

① 翔陽中エリア会議 <7月・2月>

安全マップの確認や、幼保小中の行事予定、職場体験などの交流の具体や子どもたちの様子等を話し合います。



エリアの教職員による会議

② 小中連携会議 <随時>

小中のなめらかな接続に向けた事業の企画や、学習と生活の約束、情報交流を行います。



小中の教職員による会議

③ 小中合同研修 <随時>

エリア公開研(11/9翔陽中会場)や、特別支援担当による打合せ、近隣校との合同研修を行います。



エリア公開研(研究協議)

〈エリア目標〉 ふるさとを愛し、地域づくりに貢献できる人をめざして
 ○ 昨年度も、多くの皆様とつながりをつくり、様々な取組を行うことができました。中学生の姿からは自己有用感の高まりが見られ、小学生の感想からは中学生へのあこがれや、入学を楽しみにしている声が聞かれました。
 ※ 今年度も、工夫しながら取組を進めていきます。